

2021年秋年末闘争・組織拡大

CTGの建交労道本部闘争速報

2021年11月15日/第8号

〒060-0909 札幌市東区北9条
東1丁目北海道労働センター2F
TEL011-711-7377
FAX011-711-7388
e-mail/ctg.hokkaido@gmail.com

交運共闘が個人請願書約 12,000 筆を提出 国交大臣・厚労大臣・経産大臣あて 北海道は 977 筆/981 筆/982 筆

交通運輸労働組合共闘会議（交運共闘）は11月11日に中央行動をおこない、国土交通大臣・厚生労働大臣・経済産業大臣あての個人請願書を提出しました。交運共闘全体では国交大臣あてが12,219人分・厚労大臣あてが12,172人分・経産大臣あてが12,141人分で、このうち建交労は5,459人分（北海道977）・5,404人分（北海道981）・5,397人分（北海道982）です。

7～10月の新規認定 61 件

道本部労災職業病部会は、今年7月から10月までの新規労災認定のとりくみについてまとめました。認定件数は、振動障害23件、じん肺6件、じん肺遺族補償4件、騒音性難聴28件の合計61件です。また、労災申請などの要求で新たに建交労に加入した人は26人でした。

あゆみ厚済分会が年末一時金妥結

釧路地域支部あゆみ厚済分会は11月2日に年末一時金要求「2か月分+1万円」を提出していましたが、11月9日の団交で「0.8か月分」（前年比マイナス0.05か月）で妥結しました。

函館運送支部が年末一時金要求

函館運送支部は11月2日に年末一時金要求を提出しました。要求内容は「組合員平均70万円/誰でもが一律30万円以上」です。

なくせじん肺キャラバン・札幌市要請 アスベストアナライザー2台目を購入

今年の「なくせじん肺キャラバン」の締めくくりとして、11月10日に札幌市への要請行動をおこないました。要請では、市が発注する工事でじん肺を発生させないために監督を十分におこなうこと、アスベスト調査台帳を整備しハザードマップを作成し公表することなどを求めるとともに、市のアスベスト対策補助制度の実績やアスベストアナライザーの使用実績を質しました。市の担当者から「吹付け材については令和2年度で500㎡以上の建物の台帳整備を完了している。レベル2・レベル3については整備する予定はない」「ハザードマップは平成25年以降、毎年追加・更新しているが公表はしない」との回答が示されました。また「札幌市吹付けアスベスト対策補助制度」は、今年度はアスベスト分析調査（無料）が38件、除去等工事（対象工事費の3分の2・限度額120万円）は1件の実績です。アスベストアナライザーは今年3月に「1台だけだと同時期に複数の調査対象がある場合に対応できない」ので2台目を購入し、今年度はこれまでに40件の調査をしたことを明らかにしました。さらに、今年5月の最高裁判決にもとづいて建設現場で働いてアスベスト被害を受けた人たちへの給付金制度が来年4月から始まることなど、被害の救済のために積極的に周知するよう要請しました。